科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
現代文Ｂ	３	３	新編　現代文Ｂ（数研出版）	新編　現代文Ｂ　準拠ワーク（数研出版） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）

到達目標

近代以降の様々な文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を深め、言語能力の向上を図る。

評価の観点	評価の内容
a　関心・意欲・態度	・国語で理解し表現する力を進んで高めようとしている。
b　話す・聞く能力	・目的や場面に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め発展させている。
c　書く能力	・目的や課題に応じて収集した様々な情報を分析、整理して、自分の考えを効果的に表現している。
d　読む能力	・文章を読んで、その論理性を評価したり、書き手の意図、人物、心情等の描写を的確にとらえたりし、表現を味わっている。
e　知識・理解	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色を捉え、自分の表現に役立てる力を身につけている。

評価の方法

各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。

年間指導計画

前期

月	予定時数	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	e
4	1	オリエンテーション					
	6	「ロボットと人間の未来」 石黒浩	○			○	
	6	「塩１トンの読書」 須賀敦子	○		○		
5	9	「山月記」 中島敦	○			○	
6	6	「文化としての色」 港千尋	○	○			
	1	定期考査			○	○	○
	6	「子どもの言葉」 島村輝	○			○	
7	6	「履歴書・志望動機」	○		○		○
		「自己ＰＲ」	○	○			
	6	「小論文」	○		○		○
8	6	「弱いつながり」 東浩紀	○			○	
	6	「内的成長」社会へ 上田紀行	○			○	
9	6	「永訣の朝」 宮澤賢治	○		○		
	1	定期考査			○	○	○

後期

月	予定時数	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	e
10	10	「報告書」および「プレゼンテーション」	○	○	○		
11	6	「ホンモノのおカネの作り方」岩井克人	○			○	
	6	「胆力について」 内田樹	○			○	
	1	定期考査			○	○	○
12	10	「日本文学史」	○				○
1	5	「ブックトーク」	○	○			
	1	定期考査			○	○	○
計　105							

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- 教員の指示に応じて教材を忘れずに持ってくること。
- 国語はあらゆる学習の基礎となることに十分留意し、日々の授業に集中して取り組むこと。
- 授業に際しては予習・復習を常とし、けっして受動的な態度で臨まないこと。
- 文章を読む活動を通して国語でものを考えるクセをつけること。